

第38号

宇障連

福田富一 栃木県知事揮毫

- 発行責任者
会長 麦倉仁巳
- 編集・問合わせ先
宇都宮市障害者福祉会連合会
☎320-0806
宇都宮市中央1-1-15
市総合福祉センター3F
- 宇障連事務局
TEL 637-7771
FAX 639-0663
- 手話通訳専用
TEL・FAX 636-1219
- 印刷所
藤崎印刷株式会社



年頭のご挨拶

社会福祉法人 宇都宮市障害者福祉会連合会

会長 麦倉仁巳



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
常日頃から会員はじめ関係者の皆様には当
会の各種事業にご理解、ご支援を賜り、厚く
御礼申し上げます。

さて、昨年も引続き新型コロナウイルス対
策に翻弄され緊急事態宣言や蔓延防止策が発
令されるなか栃木県障害者スポーツ大会をは
じめ宇都宮市民福祉の祭典や宇障連主催のボ
ウリング大会、野外交流会など各種イベン
トが中止を余儀なくされ障害者の社会参加の機
会が奪われました。

このような中であって、第6期宇都宮市障
がい福祉計画等がスタートしたのをはじめ、
障害者差別解消法が改正され合理的配慮が拡
大されたことや無観客ながら東京パラリン
ピックが開催され、多様性や共生社会の実現
が唱えられたことは我々障害者にとって喜ば
しい出来事でした。

宇障連としても初となるオンライン(Zoom)

配信による地域交流事業や屋外でのグラウン
ド・ゴルフ、規模を縮小してのハッピーフェ
スティバルの再開等をする事ができました。
今年も、準備を進めてきた栃木国体や第22
回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とち
ぎ大会」が開催されます。関係団体一丸とな
り全国各地から来県する選手たちを迎え入
れ、栃木の魅力とスポーツを介しての障害者
理解をアピールする絶好の機会となります。
これからも新型コロナウイルスにより各種
事業やイベント等が制約される事が予想さ
れますが、役員一同心新たに地域に密着し
た福祉向上のために努めてまいりますので、
会員の皆様はじめ関係者の方々のなご一層の
ご指導・ご支援をお願い申し上げます。
結びに、関係団体の益々のご発展と会員皆
様のご多幸を祈念いたしまして新年のごあい
さつといたします。

新年明けましておめでとうございます

本年も宜しくお願い申し上げます

宇都宮市肢体障害者福祉会
宇都宮市視覚障害者福祉協会
宇都宮市聴覚障害者協会
宇都宮市肢体不自由児者父母の会
宇都宮 喉友会
河内地区身体障がい者福祉会

表彰おめでとうございます

～令和3年度表彰者～

第27回栃木県民福祉のつどい

栃木県総合文化センター(8月23日)

▽栃木県知事表彰

自立更生 吉澤 昌三(聴覚)

▽栃身協会長表彰

自立更生 小山田敏子(視覚)

更生援護 田邊 静子(河内)

曾根 鐵也(河内)

第14回宇都宮市民福祉の祭典

▽宇都宮市長表彰

自立更生 小口 巖(肢体)

齋藤 容子(肢体)

南 深(視覚)

須田 久子(聴覚)

亀岡 昇(聴覚)

ヱフ・みやの会(聴覚)

▽宇障連会長表彰

自立更生 信沢喜久雄(視覚)

吉澤三枝子(視覚)

小川 久男(聴覚)

丸山喜一郎(聴覚)

山川 哲夫(聴覚)

北野 愛子(聴覚)

丸山まち子(聴覚)

支援功労

祝

麦倉仁巳会長叙勲「旭日小綬章」

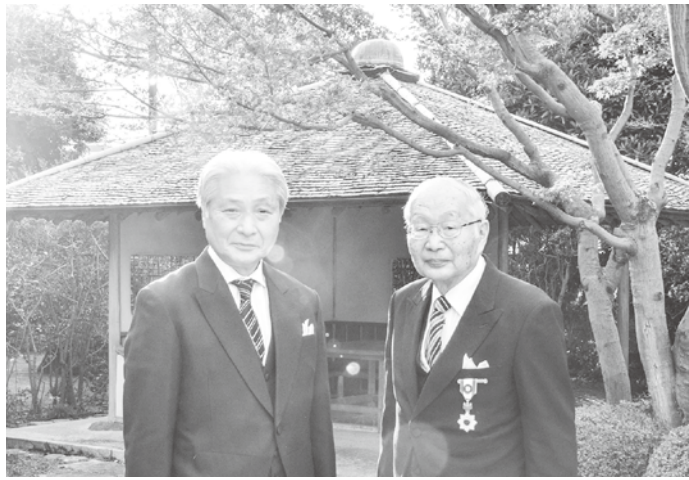
令和三年秋の叙勲で当会の麦倉会長が旭日小綬章を受章しました。旭日章は社会で顕著な功績が認められた方に授与されるものです。

麦倉会長は宇障連のほか、栃木県身体障害者福祉会連合会、栃木県身体障害者団体連絡協議会、栃木県障害者スポーツ協会の各会長をはじめ、栃木県社会福祉協議会の副会長や今年開催されるいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会では実行委員会副会長も務めております。

また、宇都宮市や栃木県の障がい者福祉に関する協議会や審議会等の委員を務め、障がい者福祉の向上に力を注いできました。

受章に際し、新聞等のコメントでは「みんなに助けられて今までやってきただけ」と話していますが、これからも我々のリーダーとして活躍してほしいと願っています。

なお、本来であれば、皇居にて天皇陛下に拝謁するところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、伝達式は11月29日に栃木県公館にて行われ、県知事からの伝達となりました。



謝辞

令和三年秋の叙勲に際しまして、はからずも旭日小綬章拝受の栄に浴し身の引き締まる思いでございます。これも偏に皆様方の長年にわたる温かいご指導ご支援の賜物と心から感謝申し上げます。今後はこの榮譽に恥じないよう一層精進致す所存でございますので変わることなきご芳情を賜りますようお願い申し上げます。

地域交流事業をオンラインで開催



9月18日、宇障連地域交流事業「ノーマライゼーションフェスティバル2021」を開催しました。

今回はコロナウイルス感染症の影響により、宇障連では初めての試みとなるオンライン（Zoom）配信の取組みとなりました。

今回の講師は南三陸町社会福祉協議会（宮城県）の高橋吏佳さんをお招きして、震災の体験とその後の地域づくりのお話をいただき、地域に寄り添い、繋がることの大切さを感じました。



オンライン配信中のスタッフ

講演会には約50名の方にご参加いただき、皆さんの関心の深さを感じることができました。

当日は、システムトラブルにより文字による情報提供の要約筆記の表示が乱れ、動画の音楽が途切れてしまったりアクシデントがありご迷惑を掛けてしまいました。編集で修正しアーカイブ配信や貸出し用のDVDを作りました。

ボランティアをはじめ、配信に協力いただきました合同会社レクスタ様、ご協力いただいた皆さんありがとうございました。

地震の規模が、この津波に匹敵する。津波の規模が、この津波に匹敵する。津波の規模が、この津波に匹敵する。



オンライン配信した画面

ハッピーフェスティバル 2021

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の解除を受け、12月4日、2年ぶりにハッピーフェスティバルを開催しました。とはいえ、感染対策をすべく規模の縮小は余儀なく、人数の制限や会食もなく半日で終了となりました。

当日は会員、来賓を含め約60名が参加。講師に栃木県国体・障害者スポーツ大会局を招いて、来年の国体障害者スポーツ大会に向けてのお話を伺いました。

後半からはスペシャルゲストの「とちまるくん」も交えて、体操あり、クイズありの楽しい時間を過ごしました。



いちご一会ダンスを楽しむ参加者

宇障連会長杯 グラウンド・ゴルフ大会 くわかくさひろばく



晴天の下だった開会式

今回で2回目となるグラウンド・ゴルフ大会は会場を「くわかくさひろば」（とちぎ福祉プラザ南側）に移しての開催となりました。

晴天の中、久しぶりに会った仲間と和気あいあいスタートした大会ですが、プレーが始まりしばらくすると空の様子が一変、怪しい雲に覆われると霰が降り出し、旋風が舞いプレーは中断、グラウンドの状態も悪くなり、何よりも濡れた体に気温の低下による会員の健康状態を優先して中止となりました。

参加した会員やスタッフには怪我や体調を壊す方もいなかったことは幸いです。

幸いです。

天候の急変によるアクシデントはプレーの中断だけでなく、ホールポットの旗を旋風が隣接の県営住宅を2棟も飛び越えさせました。

なお、今回用意したトロフィーは次回のお楽しみになります。

＊ ＊ ＊
くわく・わくマルシェ & 販売会
＊ ＊ ＊
市内各所で開催

昨年来のコロナ禍で施設製品の販売の機会が激減している中、くわく・わくショップUではこの秋に3つの販売会を実施しました。

◇10月16日

「わく・わくマルシェ

inベルモールスカイブリッジ」
ベルモール様のご理解とご協力をいただき今回初めて、ベルモールに出店しました。当日は時折雨が降る生憎の天候でしたが、人通りは絶えることなくベルモールの存在感を感じる一日となりました。

◇11月20日

「わく・わくショップU販売会」

ろまんちっく村様のご協力で、ステージイベントなどを行う「村の大大テント広場」を会場に販売会を開催。こちらは天候にも恵まれ、多くの方が訪れ、施設の製品を手にとっていました。

◇11月27日

「わく・わくマルシェ in オリオン」
こちらは恒例のオリオン通り商店街振興組合様の主催イベント。今回は、宇都宮市の障がい者週間の記念イベントとのコラボ企画となりました。生憎、天候の急変で霰が降り、急激に寒さに襲われるハプニングもありましたが、参加した事業所の皆さんは最後まで元気に販売を続けてくれました。



オリオン通り



ろまんちっく村



ベルモールスカイブリッジ

LRT車両の見学を実施

11月11日、宇障連ではLRT車両基地でLRT車両「ライトライン」の見学を実施しました。

この見学会はICカード読み取り機の取付位置の検討などに協力してきた経緯もあり、実現したもので

最初は理事の皆さんに見学してもらいましたが、その後は部会ごとに、それぞれの障がいに応じた説明を受ける見学会も実施しています

また、停留場が整備された段階で改めて乗降体験をさせてもらえるようお願いしました。



遠隔手話通訳サービスを開始

宇都宮市では、聴覚障がい者の意思疎通支援の更なる充実を図るため、ICTの活用により、手話通訳者が同行できない場合などにおいても、迅速かつ円滑な意思疎通を可能とする「遠隔手話通訳サービス（一般市民用・行政機関窓口用）」を、令和3年12月3日から開始しました。それぞれの概要は次のとおりです。

○遠隔手話通訳サービス（一般市民用）

急な発熱や新型コロナウイルス感染症の疑い等による診察、災害時の避難所における生活など手話通訳者が同行できない場合等において、利用者個人のスマートフォンやタブレット等を活用して、遠隔での手話通訳を行います。

また、事故への対応など、急遽、手話通訳が必要となった場合にも、従来の緊急FAXの利用に加え、遠隔手話通訳サービスをご利用いただくことができます。（担当者が不在の場合などは利用できませんのでご了承ください。）

※手話通訳者の同行派遣と同様に、遠隔手話通訳サービス（一般市民用）についても、原則、宇障連への事前申込みが基本となりますので、適正な利用にご協力ください。

○遠隔手話通訳サービス（行政機関窓口用）

地域行政機関等での各種申請等の手続きの際に、手話通訳が必要となる場合は、地域行政機関等のタブレット端末を活用して、遠隔での手話通訳を行います。

利用できる場所は、地区市民センター、出張所、市民活動センター、コミュニケーションプラザ、保健所、子ども発達センターの計26か所です。

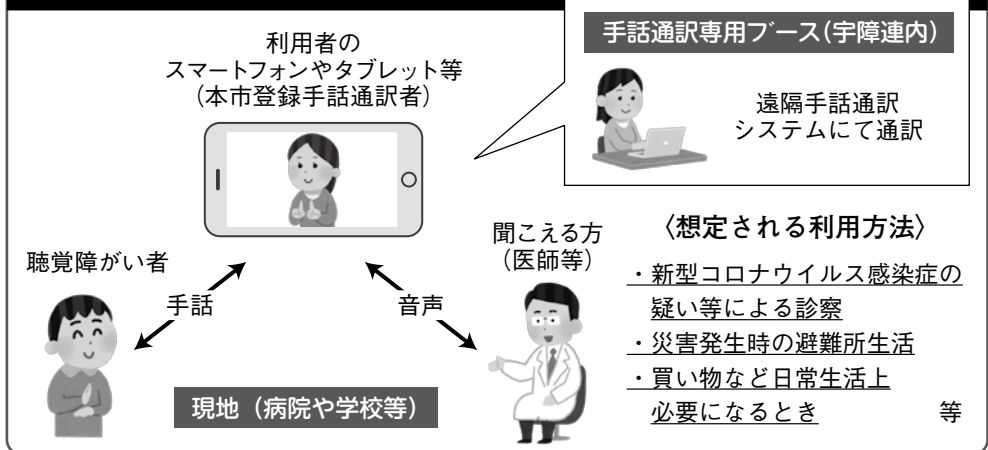
※障がい福祉課窓口の手話通訳者が対応します。通訳者が窓口対応できませんのでご了承ください。

どちらも、対応できる時間は、「平日の午前8時30分から午後5時15分まで」となります。具体的な利用方法などについては、市ホームページをご覧ください。



▲ 遠隔手話通訳サービスの様子

遠隔手話通訳サービス（一般市民用）



本会報はボランティアの皆さんの協力で点字版、音声版も発行しています。

点訳 点訳グループ

音訳 「かたつむり」の皆さん

音訳 デイジー全文訳センター

「アクセス」の皆さん

ご協力ありがとうございました。